

青森県におけるナガイモのマルチローターによる防除の検討

新藤 潤一（本文P.1～4）



マルチローターによる散布の様子



ナガイモコガ幼虫の食害（左）と葉斑病の被害（右）

日本における薬用作物の栽培の現況について

本多 正幸（本文P.17～20）



漢方とは

屋久島の森林生態系と絶滅危惧種ヤクタネゴヨウの保全

金谷 整一・手塚 賢至（本文P.30～37）



国割岳西斜面の植生

海岸から山頂まで垂直分布が観察できる。林冠層から突出しているのは、ヤクタネゴヨウ。



瀬切川左岸に広がるヤクタネゴヨウの自生地

写真の中央から右側にある急峻な尾根筋にヤクタネゴヨウが分布している。ここで、島内で最大径の個体を確認した。



西部地域における越境大気汚染物質を観測している様子



屋久島におけるマツ枯損木の伐倒駆除のメンバー

飼料用トモロコシにおける不耕起栽培を活用したアレチウリの防除技術

佐藤 真（本文P.21～24）



アレチウリによる甚大被害



2017年収穫間近の耕起区



2017年収穫間近の不耕起区

シリーズ―食と農―第1回「みんなを笑顔にする仕事 バレイショ専門官」

山谷 俊裕（本文P.25～29）



インタビューの様子



バレイショのサンプリング



バレイショの品質確認



カルビー株式会社 新宇都宮工場



他の線虫の体に口針を突き刺し体液を吸収する捕食者 *Seinura* sp.



大根に見られるネコブセンチュウによる被害



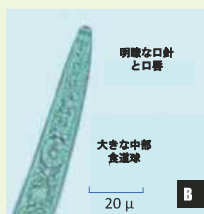
寄主植物の根に頭部を埋めるシストセンチュウ雌と根外に露出したシスト



シストセンチュウによる被害 (左上) と根に形成されたシスト



ネコブセンチュウ感染により多数のコブが形成された被害作物



Aphelenchoides 属線虫と感染植物の病徴

A: ハガレセンチュウ
B: *Aphelenchoides* 属線虫の特徴的な頭部、
C, D: キクとイチゴの葉に現れた病徴



ジャガイモシストセンチュウの黄色いシスト



Aphelenchoides besseyi の加害によるイネの葉先の白化 (左) と黒点米 (右) *

* 黒点米の写真は島根県の病害虫データベースの写真を使わせていただいた。



マツ枯れの病原体、マツノザイセンチュウ (左) とその媒介者マツノマダラカミキリ (右)

「途中下車」虫屋の性

堤 隆文 (本文P.52～60)



オキナワチビトラカミキリ *Perissus tsutsumii* (荒井孝雄氏提供) 自分の名前が付いた唯一のカミキリ



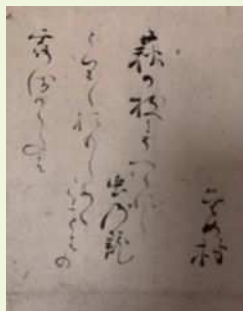
無銘サラサ寒蘭 (長崎県白西平産)



上野焼徳利部分 (熊谷保興造)



初期伊万里盃 (江戸初期) 見込みに昆虫が書かれている珍品



冷泉為村詠草 (江戸中期)



土佐派絵師による女房三十六歌仙のうち宮内卿 (江戸中期)



西表島で採集した「赤い彗星」ベニボシカミキリ